

第49回 大阪公立大学緩和医療研究会

医療従事者対象

緩和ケアチームをどう使いこなすのか

緩和ケアチームに介入を依頼したいのだけれど...でも介入には至らないということをお聞きすることができます。緩和ケアチーム、というより「緩和ケア」そのものに対するバリアが、それも医療者にも患者さん側にもあるようです。どうすればこのバリアを打破できるのでしょうか。また緩和ケアチームは全人的苦痛に対応する多職種からなるチームです。例えば疼痛コントロール目的に依頼のあった患者さんに対し、疼痛以外の苦痛に対しても対応してきています。院内外の医療者に、特にレジデントの皆さんにどうすればサポートチームである緩和ケアチームをうまく使いこなしてもらえるのか今回考えてみたいと思います。

日 程：2026年2月16日【月】18:00～18:30

※見逃し配信も実施予定です。以下よりお申込みください。

【講演】座長 大阪公立大学医学部附属病院 麻酔科・ペインクリニック科

講師 矢部 充英

演者 大阪公立大学医学部附属病院 緩和ケア内科

講師 中尾 吉孝

【参加方法】

- ◆本フォーラムは「Zoom」を用いたオンライン会議形態で行います。
- ◆事前申し込みが必要です。QRコード or URL から申し込みフォームをご入力ください。
- ◆ご入力いただきましたメールアドレスに、お申し込み受付完了メールと当日ZoomURL および見逃し配信のご案内を送付いたします。【締切 2月 15日（日）】

参加申し込みは右記から行ってください <https://omu.info/btquacwx>

【問い合わせ】

大阪公立大学大学院医学研究科 がんプロ事務局

Mail: gr-med-ganpro@omu.ac.jp



主催

大阪公立大学医学部附属病院 緩和ケアセンター

共催

阪神5大学サステナブルがん人材養成プラン

大阪公立大学大学院医学研究科 がんプロ事務局